

**9月8日**  
日頃の訓練の成果を披露  
弟子屈・川湯消防団の秋季合同演習



平成25年度弟子屈・川湯消防秋季合同演習が9月8日、摩周観光文化センター前と町営スケートリンク場で行われました。

消防団員の技術向上と地域の防火意識高揚のため毎年行われていますが、両消防団合同で開催するのは今年が初めてです。あいにくの雨模様の中、消防職員や消防団員、関係者など約150人と消防車両が参加。観閲式や分列行進、消防技能競技会などを行い、日頃の訓練の成果を披露しました。参加者は演習を通して、防火意識を新たにしていました。



唐箕でソバの実を選別

農業青年で組織する弟子屈町4Hクラブ(吉田雄貴会長)の皆さんが9月9日、町民農園でソバの脱穀作業を行いました。

同クラブが取り組む「SOBAプロジェクト」の一環。特産品であるソバの収穫適期などの研究で、今年で2年目。昨年度はソバの生育日数と積算温度から収穫期を導き出し、全国青年農業者会議プロジェクト発表部門の農林水産省経営局長賞を受賞しました。この日は、郷土資料収蔵庫「てしかがの蔵」から借りた足踏み脱穀機でソバを脱穀し、唐箕で選別。今後、実入りや食味などのデータの分析を行います。

**9月17日**  
かけがえない命を大切に  
弟小と弟高で思春期保健講座



胎児の大きさの図形に見入る児童

町主催の思春期保健講座が9月17日、弟子屈小学校と弟子屈高校で開催されました。

妊娠の成り立ちや出産までを学ぶことで、命の大切さを再確認し、自己や周りの心身を大切に考えられるようになってほしいと開催されたもの。弟子屈・奥春別・昭栄各小学校の6年生と、弟子屈高校の生徒が受講しました。

講師は、日本助産師会北海道支部の思春期保健相談士・安藤由美子さん。妊娠が成立し無事にこの世に生まれてくることは奇跡に近い確率であり、全ての人にとって大切な命。たくさんの人に育ててもらった命を大切にしてほしいと強調しました。

**9月7日**  
たくさん子どもたちでにぎわう  
子どもフェスティバルを開催



多彩な催しに子どもたちも夢中

第10回子どもフェスティバル(同実行委員会主催)が9月7日、公民館で開催され、多くの子どもたちが訪れました。

会場には、折り紙・ペーパークラフトや伝承遊び、お琴体験、手作りおやつなどのコーナーが用意されたほか、北海道教育大学釧路校の学生の皆さんと一緒に工作や実験を行うイベントも行われました。また、3歳児健診で虫歯のなかったお子さんの表彰式も行われました。

**9月9日**  
地域の花壇をきれいに  
町友会の皆さんが花壇整備のボランティア



花壇の草取りなどを行う町友会の皆さん

役場職員OBで構成する町友会(玉手俊一会長・会員70人)の皆さんが9月9日、摩周温泉公園花壇の整備を行いました。

同会の皆さんは普段から、植樹などの活動を行っています。この日は、春に湯の島自治会の皆さんと植栽を行った同公園の花壇を整備しようと、11人が参加しました。参加者の皆さんは、花壇の草取りや周辺のごみ拾いなどを丁寧に行っていました。

**9月10日**  
おいしいおそばで長生きしてください  
レストラン摩周が老人ホーム入所者を招待



入所者と語り合う和田さん(中央)

摩周観光文化センター内でレストラン摩周を経営する和田義光さんが9月10日、養護老人ホーム偉和園と特別養護老人ホーム摩周の入所者を招待し、約60人に摩周そばを振る舞いました。

敬老の日を前に、感謝の意を込めて初めて行ったもの。元役場職員の和田さんは、老人ホームの園長時代に入所者のためにそばを打ったこともあり、当時からの入所者をはじめ、楽しみにしていた皆さんは、おいしそうにそばをすすっていました。外出できない入所者には、ホームでの昼食にそばを準備。和田さんは「来年以降も続けたい」と話していました。

**8月23日**  
美しい景観と安らぎの提供に貢献  
日の出自治会に道路功労者表彰



表彰を受けた日の出自治会の皆さん(前列)

平成25年度道路功労者表彰伝達式

平成25年度道路功労者表彰伝達式が8月23日、釧路開発建設部弟子屈道路事務所で行われ、日の出自治会が表彰されました。贈呈式には、同自治会の塩沢紀雄さん、粥川豪さん、森田幸子さんが出席し、石田悦一釧路開発建設部長から表彰状を受け取りました。

北海道開発局が所管する道路事業について功労のあった団体や個人を、北海道開発局長が表彰するものです。同自治会は、国道243号日の出バイパス付近を中心に、花壇への植栽やごみ拾いなどの活動を継続して行ってきたとして、今回の表彰となりました。

**8月25日**  
町内最後の開催  
おひさま保育園の運動会



運動会の花形年長児によるリレー

おひさま保育園(清水節子園長)の運動会が8月25日、同園グラウンドで開催されました。今年度の町内の運動会としては、同園が最後の開催です。

時折雨が混じる天候の中、プログラム進行を変更して、どうにか屋外で競技を実施。肌寒い中、園児はかけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯など練習の成果を元気いっぱいに披露し、保護者などから大きな声援が送られました。

**9月6日**  
親子の絆を深めて育児不安を解消  
初めてのベビーマッサージ講座



講師の松實さん(左)の指導を受けながら

町主催のインファント(ベビー)マッサージ講座が、9月6日から4回にわたって開催されました。核家族化が進む中、マッサージによる触れ合いを通して、親子の絆を深め、育児の不安を軽減してほしいと、初めて行ったもの。2~11カ月の赤ちゃんとそのお母さん、8組が参加しました。講師に、国際インファントマッサージ協会インストラクターの松實とよ実さんを迎え、赤ちゃんへのマッサージを学びました。

**カメラスケッチ**  
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**8月24・25日**  
おいしい地元産摩周そばに舌鼓  
毎年恒例のJA摩周湖農業祭新そば祭り



新そばを求めて長蛇の列が

JA摩周湖(川口覚組合長)と摩周そば生産組合(猪狩広昭組合長)が主催する「第7回JA摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り」が8月24、25の両日、JA摩周湖前で開催されました。

そば打ち名人として名高い広島県「達磨 雪花山房」の高橋邦弘さんが妙技を披露したほか、そば店コーナーでは「摩周そば生産組合」「達磨 雪花山房」「松風庵(釧路市)」が、弟子屈産のそば粉を使った、打ちたて、ゆでたての新そばを提供しました。また、摩周メロンや牛乳などの地場農産物即売や多彩なイベントが用意され、多くの人でにぎわいました。

**8月26日**  
短い夏を惜しみながら楽しいひととき  
ケア・サポートまつやまでなつ祭り



バンビーズが元気によさこいを披露

高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉1)で8月26日「なつ祭り」が行われました。

同施設で働く職員の子どもたち「バンビーズ」と地元青年会の協力のもと、かき氷やお好み焼き、焼きそば、チョコバナナ、千本くじ、風船釣りなどの出店を用意。チケットをもらった入居者の皆さんが、お祭り気分を味わいました。また、バンビーズによるよさこいや、入居者による民謡の披露も行われたほか、最後にはみんなで子ども盆踊りを踊り、短い夏を惜しみながら閉会しました。